

No.	10-2-5	場所	駒ヶ根市大洞	次世代への継承キーワード
名称	一瞬のうちに5名の命が奪われた家の遺体発掘			避難行動
災害現象	家屋の被災			河川 新宮川
補足事項				支流

諏訪市 岡谷市 辰野町 箕輪町 南箕輪村 伊那市 高遠町 長谷村 宮田村 駒ヶ根市 飯島町 中川村 大鹿村 松川町 高森町 豊丘村 喬木村 上村 飯田市 南信濃村 清内路村 阿智村 浪合村 平谷村 下條村 阿南町 売木村 天龍村

上流でがけ崩れが約390ヶ所で発生し、土砂が新宮川に一気に流れ込んだ。竜東（伊那山地）では駒ヶ根市中沢新宮川、百々目木川流域一帯で、死者・行方不明5名、被災人員 558 名に及び人的被害と家屋や発電所の倒壊、橋の流失等の建物にも被害が生じた。

百々目木、大洞地区などでは、土石流によって60戸以上が流出全壊、農地のほとんどが失われた。

●体験談：災害時、中沢小学校東分校一年
 (36年7月19日に東分校教諭が聞き取ったもの)

みやこのうちへ「おんどりや」のそこから みずがへってきた(入ってきた)。ようさ(夜) みよこたちがねとるとき 水が うんと にわのところへはいつてきた。とおりまでついてきたもんで(土間) おとうちやが「にげる」ちゅった。おとうちやおかあちゃは うらぐちえみにいった。おじいちゃが「くらがいい」と おもったもんで みよこたちも みんな くらへ入った。そのとき、水がうんと川のように きたもんで、くらはつぶれちやった。みやこは、土やすなやいろいろ いっぺえ のんだ。うりやぶの とこまで ながされて いった。-中略- みよこは おぢいちゃとおばあちゃの あいさへ へえって くるしかった。みやこのとこへ 木や ざいもくや ふとん やら いっぺえ きたもんで おとうちやが ざいもくや いろいろ どかして だしてくれた。そのとき おじいちゃやおばあちゃは しんどった。

(「濁流の子」より)

記 録



一瞬のうちに5人の命を奪われた家と遺体の発掘

出典 「駒ヶ根市の災害史」p.6/「濁流の子」p.3

備考 概要欄の()は編者が補足説明したものです。

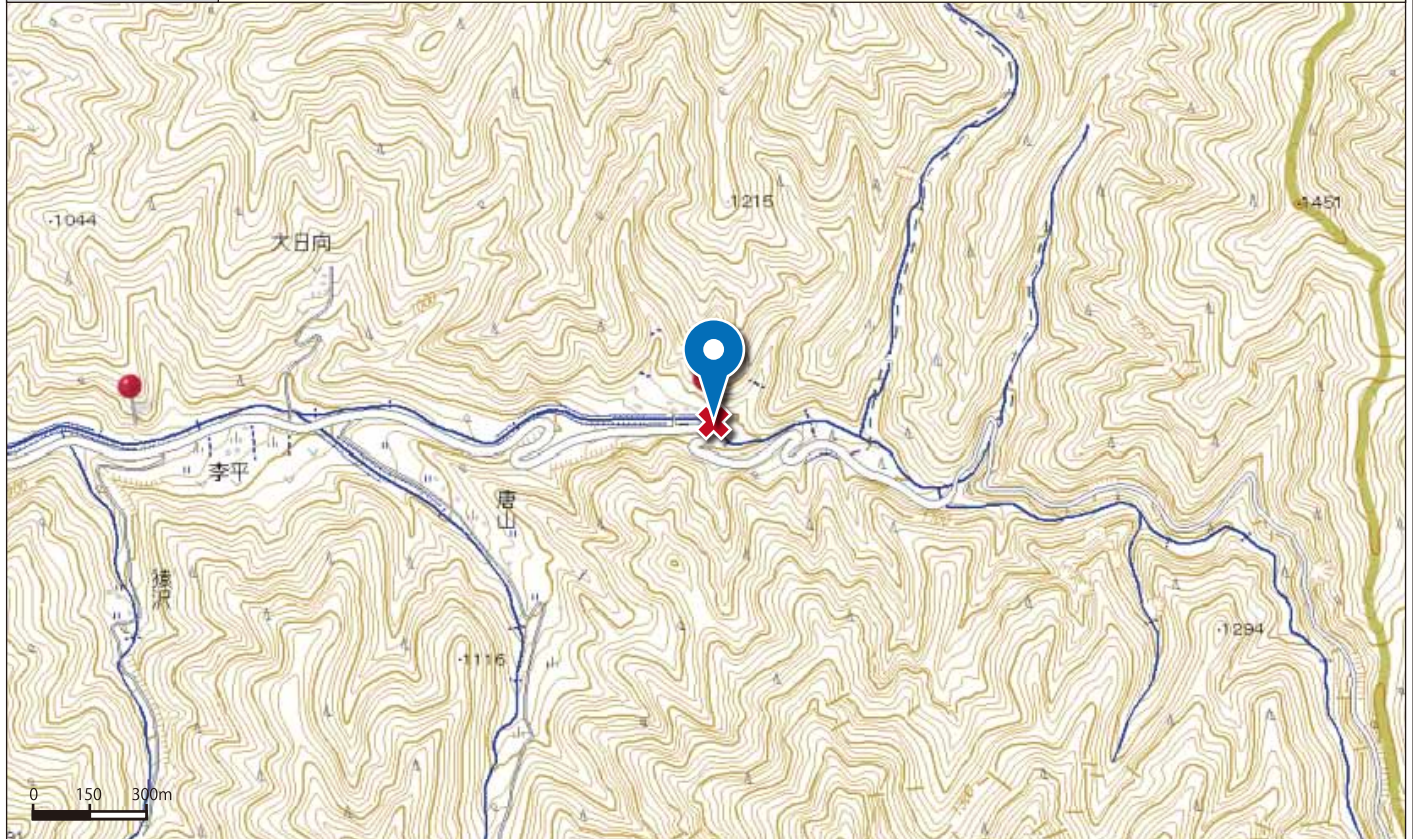
No.	10-2-5	場所	駒ヶ根市中沢大洞	緯度	35.720524
-----	--------	----	----------	----	-----------

名称	一瞬のうちに5名の命が奪われた大洞の双山さんの家の遺体発掘			経度	138.045874
----	-------------------------------	--	--	----	------------

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通称：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。